

2021 年度東北支部活動報告

<世界中医薬学会連合会 耳鼻咽喉口腔専門委員会>

理事選挙大会と学術シンポジウムにオンライン参加

～オンラインでの嬉しい「ニーハオ（你好）」～

時節柄、かつ数の学会出張が中止になり、2020 年は年内に 2 回予定されていた中国出張もリアル参加が叶わなくなりました。そのうちのひとつ、世界中医薬学会連合会耳鼻咽喉口腔専門委員会の理事選挙大会と学術シンポジウムにオンライン参加しました。私が、本大会で発表させていただく予定でいた講演タイトルは「難聴・中医学の新たな可能性—七情に対するポジティブサイコロジーの応用—」でした（今回は論文を事前にデータで送りました）。実は、事前にオンライン投票が行われた理事選挙では、尊敬する先生方と光栄にも名を連ねさせていただき、このたび、敬愛する当学会元会長の岡村興一先生とともに常任理事の命を授かりました。本当にありがたいことです。

学術シンポジウムでは

・中医学耳鼻咽喉頭口腔科の学術交流として：

中国国内外の有名な専門家が学術報告を行い、漢方医の耳鼻咽喉と口腔科の老中医の学術経験伝承と古典理論解説、漢方医の耳鼻咽喉と口腔科の外医療法技術および臨床実用など。

・耳鳴り中医薬予防特別テーマ学術フォーラム：

漢方薬の耳鳴り予防の理論研究、臨床実用経験交流（以上、大会案内より抜粋）。

画面には次々と…これまでの訪中時、夕食会で連日臨席だった刘教授（今回の選挙で会長に就任）、お世話になってきた中医師の全先生（副会長に就任）、一昨年学会で初来日された折にもずっとご一緒し親交を深めている郑芸先生（副会長に就任）やその医局の先生方をはじめ、お顔見知りの中医学の先生方、中国で再会を重ねてきた老中医の先生方、上海で大ご馳走になった K 教授など、シンポジウムで次々に懐かしいお顔が登壇され、テレビの前で家族に写真を撮ってもらいました。

時折、ウィチャットにこれから登壇される教授から、「見てる？」「ここまでどんな感想ですか？」「リアルでまた再会したい！」など英語でメッセージが入り、とても楽しいやりとりも交わしました。「…僕は中国でものすごい先生方にご縁をいただき、こうして繋がらせていただいていたんだな。この奇跡のご縁にあらためて、感謝だな～」と感慨深く、終日自宅テレビに釘付けの 1 日でした。

1 日も早く、この事態が落ち着き、リアルな交流が叶う日が来ることを心から願いつつ…

（中山孔壹・記）